

平成25年度 第2回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう!ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成25年(2013年)4月23日(火)
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 富士見公民館 集会室
- 3 テーマ 富士見地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者15名 傍聴者15名



富士見公民館での集会の様子

5 市長あいさつ

皆様、こんばんは。夜分にも関わらず、このほっとミーティングに御参加いただき、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

平成23年4月末に就任させていただき、前半の2年間が終わって3年目に入ろうとしています。同年3月11日には大きな震災があり、海に面している平塚市の津波対策など、市民の皆様の安心安全を守る対策を中心に行ってきました。また、私は市民の皆様の率直な御意見を伺いたいと考え、平成23年度は防災対策をテーマに、市内4か所にてほっとミーティングを開催させていただきました。平成24年度は各地域の特徴を伸ばしていただきたいという思いも込め、地域のまちづくりをテーマに地区自治会連合会単位にて14回開催させていただきました。そして、今年度も引き続き、地域のまちづくりの御意見を伺わせていただきたく、この富士見地区が2回目の開催です。先日は城島地区に伺いました。私はこの対話を通して、市民の皆様の率直な御意見を伺い、政策に反映していきたいと考えています。

平塚市は、それぞれの地域に豊富な歴史や文化、そして人材があふれています。地域が力を持って発展することは、集合体である平塚市をより輝かせると信じています。地域の皆様が御自身の地域をもっと良くしていこうと取り組んでいただけることを本当にありがたく思っています。

今日は細かい内容をお答えできないこともあるかと思います。その時には担当課に確認して改めて回答させていただきます。今日はよろしく願います。

6 主な対話集会の内容

① 防災・防犯について

【参加者】

地震によって建物が倒壊した場合、クレーン車などによる救助が必要になります。また、被災者の救助はできるだけ早く行うことが重要です。災害時には平塚市の消防だけでなく、近隣市町村との連携を図り、お互いに救助の応援をしあえる体制が必要です。また、備蓄を充実させることも大切な防災対策です。

【市長】

今後は、大磯町、二宮町と指令業務を一本化することで、応援体制を強化します。先日、高砂香料工業の工場で大規模な火災がありました。火を泡で消す化学消防車が必要になりました。平塚市だけの化学消防車では足りず、茅ヶ崎市と伊勢原市から応援をいただきました。今回のような相互応援協定はすでに結んであります。そして、広域で災害が起きた場合には、消防庁の指示による応援体制も決まっています。東日本大震災の時には、平塚市の消防も東北まで応援に行かせていただきました。救命率が高い72時間以内の救助を目指し、今後も他市町村との連携は深めていきたいと考えます。

備蓄については、今年度の予算を充実させました。新たに9か所の防災備蓄倉庫を造ります。公的に備蓄を充実させることやスーパーマーケットやコンビニエンスストアと協定を結び、災害時に物資を早く届けるための準備を進めています。

【参加者】

私は車いすを利用しています。災害時の支援のために、近所の4人が手をあげてくれています。大変心強く、ありがたいことです。しかし、災害時要援護者支援の体制は地域によって差があるようです。これからの要援護者の支援について聞きたい。

【市長】

地域の皆様には御協力をいただきながら、災害時に高齢者の方や障がいのある方などを支援する災害時要援護者登録制度を進めていますが、体制の広がりには不十分です。地域における要援護者の方の情報把握には個人情報課題もあります。横浜市では、要援護者本人が申請を行わなくても、市からの通知に対して本人が拒否の意思表示をしない限り、平常時から地域に情報を提供することができる条例をつくらうとしています。この動きには平塚市も注視しながら

対策を考えています。大神地区では特別な取り組みを行っています。個人のカードを作り、災害が起きた時にはカードを利用して情報を把握する方法です。

災害時要援護者の支援は大変重要な課題です。共助を機能させるための地域の関わりづくりがとても大切です。障がいに関わる団体には常々お話をさせていただいていますが、御自身の障がいのことをお話していただく必要はありません。災害時に支援が必要な自分がいることを地域に発信してほしいと願っています。最後には、普段のつながりが命を守ることに繋がります。

【参加者】

私は災害時に地域の避難誘導係をします。中里の一部の地域は、避難所が平塚商業高校ですが、近くには春日野中学校や平塚農業高校があります。津波の被害を考えると、避難はできるだけ高いところへと考えます。低くて海に近い避難所に避難することには矛盾を感じます。

【市長】

避難所を指定するための区割りは必要で、住所ごとに指定しています。しかし、御意見のとおり、津波からの避難は遠くよりも高くが基本です。そのために、地域にはまず命を守っていただく一時避難場所があり、その後の避難が必要な場合には指定避難所に避難していただきます。まずは、近くてより安全なところへ避難していただいて結構です。

神奈川県の実定では、元禄型関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震が起きた時、平塚市に一番大きな津波が到達することが予想されています。地震発生19分後に6.9メートルの津波が到達する予想です。平塚市は国道134号の高さが約8メートルあるため、津波が国道を越えることは想定されませんが、津波が川を溯る可能性はあります。これからは、川を溯る津波への対策も考えていきたいと思ひます。

【参加者】

市内の施設などでは、NPO団体が発行しているみんなのトイレの配置マップがありますが、災害時にはトイレが課題になります。東日本大震災の時も、避難所ではトイレが大きな問題になりました。特に、高齢者や障がいのある方にとっては大きなことです。また、御自身の病気によっては命に関わる方もいます。災害時に人が集まる避難所には、多機能トイレが最低1つは必要であると思ひます。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

小中学校等の市内52か所を避難所として指定していますが、小中学校においては耐震改修等の大規模改修の際には、障がいのある方や高齢者はもとより、だれもが円滑に利用しやすい「みんなのトイレ」として改修しています。今後も施設の大規模改修の際には、「みんなのトイレ」への改修を検討していきます。

また、県立高校においては、車いすを利用される方に対応したトイレ等の既存施設の活用について、避難所運営委員会での検討を働きかけてまいります。

（事務担当は災害対策課災害対策担当）

【参加者】

県道62号（平塚秦野線）において、交番は金目の地区だけにあります。交通量が多く、歩行者も多い道路です。夜になると、暗くて危険な場所もあります。交通安全や防犯の点からも、交番を増やしてほしいと思います。

【市長】

様々な地域から、交番設置の要望を多く伺っています。警察によると、交番は一定範囲に1か所という基準があるそうです。しかし、交番のあるべき場所を考える上で、地域の皆様の御意見は大切です。防犯の担当課にはお話を伝えさせていただきます。

また、犯罪も危機という考えのもと、4月の機構改革の中で、防災危機管理部に防犯を担当する危機管理課を設置しました。警察との連携を深め、平塚市の安心安全を守っていきたいと考えます。

② 福祉について

【参加者】

昨年、お墓のことでとても苦労しました。抽選で市営の墓地が当たり、本当にありがたく思っています。同様にお墓がなく、困っている人は多くいます。市営の墓地を増やしてほしいと思います。

【市長】

公的な墓地としては土屋霊園があります。ここで、約100基の増設を行ってスペースがいっぱいになりました。増設を行い、土屋霊園には墓地が約3,800基ありますが、さらなる増設の要望は多くいただいています。また、現代は葬儀の形も変わってきています。樹木葬や散骨などの相談や要望も多くなりました。増設とともに今後の課題として、このような墓地のスペースを必要としない方法も考える必要はあります。

【参加者】

高齢化社会を迎えました。この富士見地区においても、高齢者はとても多くなりました。特に、独居高齢者などの安否確認は必要になります。

【市長】

現在、平塚市の高齢化率は約23パーセントです。約4人に1人が65歳以上の方です。団塊の世代の方が65歳を迎える時には30パーセントを超える見込みです。これからは、高齢者の方にやさしいまちづくりが必要です。

実は、このほっとミーティングを崇善地区にて開催した時、マンションに住む方が亡くなって数日後に発見されたというお話がありました。独居高齢者の方の見守りが課題であるとの御意見をいただきました。そこで、今年度は高齢者の方の安否確認を充実させます。緊急通報システムや徘徊者の位置を確認するGPS機能、歩数計による安否確認などです。平塚信用金庫などの金融機関や業者と協定を結び、郵便物がたまっている家を発見した時には、警察や市に連絡してもらおう仕組みづくりも進めています。

【参加者】

この公民館でダンベル体操を教えています。約40人の参加者がいて大変好評です。長く体操に参加していただいている方は、介護保険や医療保険とは無縁です。もっと大きな施設でこのダンベル体操を広げていきたいと思っています。また、公民館にはエレベーターがありません。多くの高齢者の方や障がいのある方が利用する公民館には必要な設備です。新しい施設や公民館改修について聞きたい。

【市長】

医療予防や介護予防につながる活動を本当にありがたく思います。新しい施設をすぐに建てることは難しいことです。しかし、このような地域の活動を支えるため、使い勝手の良い場所などをお知らせする仕組みはつくっていきたいと考えます。

また、バリアフリーの観点を考えていくことは必要です。これから造られる施設については、当然エレベーターは設置していきます。新しいものを次々に建てることは難しいことですが、現在ある施設の改修などの時には、バリアフリーを念頭に考えていきます。

【参加者】

他の地域と同様に、富士見地区でも多くの小売店が閉店してしまいました。車の運転ができない高齢者にとって、これからは買い物も課題になります。

【市長】

高齢者の方が買い物難民にならないよう、スーパーマーケットなどと協定を結び、食料品などを配達してもらう仕組みも考えていく必要があります。買い物だけでなく、高齢化社会を迎えた今、医療や介護のサービスについても、近いところで受けられるまちづくりが、高齢者の方にやさしいまちづくりにつながります。

③ 環境について

【参加者】

ごみの集積所はカラスの被害で困っています。最近のカラスは賢く、ネットをくぐってごみを引っ張り出します。例えば、蓋付きのケージなどを利用する方法も考えられます。

【市長】

ごみの集積所におけるカラスの被害も含めて、市内では鳥獣による被害が多く起き、大変苦慮しています。集積所において、今は家庭から出されるごみにネットをかけて対応していく方法しかありません。御意見のとおり、カラスのくちばしがごみに届かない囲いを造ることも考えていますが、相当な数が必要になります。予算的なことも含めて、今後の課題として考えていきたいと思えます。

【参加者】

富士見地区には立派な公園、桜ヶ丘公園があります。とてもきれいな公園で、他の地域の方からも褒められます。しかし、開園後にはトイレや施設などが壊されることがありました。そこで、地域の住民は週に3回から4回の夜間パトロールをはじめました。約1時間、10人くらいで行うパトロールは非常に効果があります。行政からは、美化や点検、植栽の維持などのための業務委託費をいただき、地域の住民は協力して公園の管理をしています。しかし、防犯に関わる委託費はありません。これからも、地域のふれあいの場である公園を守っていきたく思うので、防犯に関わる委託費も検討していただきたいと思えます。

【市長】

今日、市内地域の公園を愛して面倒をみていただいている公園愛護会の皆様とお会いする機会があり、日頃のお礼をさせていただきました。行政だけでは管理しきれないことの御協力をいただいている地域の皆様の取り組みには感謝いたします。また、地域の皆様による桜ヶ丘公園の夜間パトロールにも、厚く御礼申し上げます。当然、管理にはある程度の費用や道具が必要になります。公園を管轄するみどり公園・水辺課には、御相談をしていただければありがたいと思えます。今日いただいた御意見は、担当課に伝えて考えさせていただきます。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

日頃より公園愛護会の皆様には、公園愛護活動に御協力をいただきありがとうございます。

桜ヶ丘公園については、開園当初、夜間利用における騒音や悪戯による施設の損壊等の問題が発生していましたが、公園愛護会の皆様による夜間パトロールの実施により、公園の安全や環境の向上が図られており、皆様の取組みに大変感謝しています。

しかしながら、公園の防犯活動については、他の一部の公園でも、愛護活動の一環として、交付金の範囲内で自主的に行っている状況です。防犯活動に関わる費用を委託費としてとの御要望ですが、他の愛護会との整合性を図るなどの課題があり、現状では難しいと考えていますので、御理解の程、よろしく願いいたします。

（事務担当はみどり公園・水辺課公園管理担当）

【参加者】

平塚駅西口の花壇について、とてもきれいな花壇ですが、虫が多くて驚きました。殺虫剤をまきたいほどの虫の数でした。適切な管理を行ってほしいと思います。

【市長】

私の実家も花を作る農家でした。平塚市はバラが特産で、私は平塚市を花で潤うまちにしたいとも考えています。南口では、海岸に向かうところを改修し、バラを植えて公園化しました。例えば、市道の街路樹についての不具合は御連絡くださるようお願いいたします。せっかくの花壇が虫だらけでは台無しです。御連絡いただいた場所は確認して消毒などの対応を考えさせていただきます。

④ 経済について

【参加者】

高齢者の方など、散歩やウォーキングを楽しむ人が増えています。平塚市の地域別散歩ガイドを作ってほしいです。利用する人が増えれば、健康の増進にもつながると思います。

【市長】

平塚市の観光協会が法人化されます。今後行政は、法人化される観光協会と力を合わせ、平塚市の観光を盛り上げていきたいと考えます。市民の皆様の御協力も効果があります。例えば、観光ボランティアの皆様には「湘南ひらつか七福神」を考えていただきました。このような市民の皆様のアイデアを生かした企画も作っていきます。観光マップはありますが、散歩ガイドはありませんので、同様に考えていきたいと思います。

【参加者】

まちづくりの基本は人です。平塚市に多くの人が集まるまちづくりを行ってほしいと思います。

【市長】

とても大きな課題です。以前平塚市は、西は三島、東は三浦と大きな圏から人が集まるまちとして栄えました。現在の人口は約26万人ですが、徐々に減っていきます。2040年には、県が約8パーセント、平塚市は約13パーセントの人口が減る見込みです。市の職員の頃、産業活性に関わる業務に携わりました。もう一度、平塚市に多くの人が集まり、魅力を持って持続可能な発展するまちになるためには、産業の活性が不可欠です。

平成26年度には圏央道が完成します。国道134号も4車線化されます。内陸から人を呼び込むまちづくりが可能になります。大神地区ではツインシティ構想というまちづくり、日産車体跡地の商業施設を中心としたまちづくりもはじまります。このような機会を生かし、平塚市に多くの人が集まるよう考えていきたいと思います。

【参加者】

平塚市は平らで、自転車の利用者がとても多いまちです。自転車を利用したまちづくりやサイクリングロードも良い考えです。しかし、大磯町のプリンスホテルから大磯漁港まで、茅ヶ崎市から鎌倉市まではサイクリングロードがありますが、平塚市で道は途切れてしまいます。実は、平塚市の海は房総や三浦、大島を眺めることができ、何よりもダイヤモンド富士が一番良く見える絶好の

ビューポイントです。他市町村とサイクリングロードがつながるような構想は
とても良いと思います。

【市長】

御意見のとおり、平塚市は自転車の利用が大変多いまちです。当然、事故は
多くなりますが、警察と連携して事故を減らす努力をしています。また、この
ほっとミーティングの中でも、子どもへの自転車に関わるマナーの教育が必要
であるとお声を多くいただきます。警察や学校、交通安全協会と協力し、交
通ルールを守る子どもを育てていきたいと考えます。

今、車道が広い道路への自転車専用道路の設置を検討しています。可能は範
囲での専用道路の設置やサイクリングロードについても、今後の課題として考
えていきたいと思います。

【参加者】

平塚市は七夕まつりや囲碁、江戸見附などが有名です。七夕まつりや囲碁の
1,000面打ち大会には全国から人が集まります。例えば、七夕まつりの歌
を募集し、グランプリの曲は1年間発信したり、江戸見附を再開発すれば、年
間を通した観光資源になると思います。

【市長】

今、見附台周辺地区の再開発を計画中です。どのように民間の力で開発を行
うかということの調査をはじめます。再開発の中には、七夕や囲碁、江戸見附
を取り込んでいくことを考えたいと思います。七夕まつりのキャラクターも誕
生しました。ぜひ、年間を通して七夕を感じるができるまちになってほし
いです。

⑤ 自治会について

【市長】

今年度の自治会関係の予算については、意向のあった地域に対して単位自治会と地区連合会の交付金を統合し、一括して交付することにしました。今後は、それぞれの地域で美化やごみ、体育振興など活動の目的を指定せず、地域の活動に応じたお金の使い道を決めていただけるような交付の方法を目指していきたいと考えています。

【参加者】

自治会で役員をしています。今、自治会に加入しない人は多く、自治会を辞める人も多くなりました。自治会に入るメリットがなく、税金を払っているのだから行政サービスは受けられるという意見もあります。しかし、ごみの集積所の管理などは自治会が行っています。当然、会員からは不公平であるという意見もあります。役員として、自治会への勧誘をするときや会員と話をするときなど、自治会に加入するメリットを伝えられなくて困っています。

【市長】

現在、自治会の加入率は約76パーセントです。御意見のとおり、加入するメリットがないというお声もありますが、私は決してそのように思いません。自治会には行政からの様々な情報が届けられ、多くの行政サービスも受けやすい体制ができています。行政からも自治会への加入はお願いしています。また、宅地建物取引業協会とは協定を結び、不動産屋が物件などを紹介するときは、自治会への加入を勧誘していただくよう御協力いただいています。自治会加入へのメリットを役員の方から地域の皆様にお話できるように、担当課に御意見を伝えて考えさせていただきたいと思います。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

地域が抱える様々な課題の解決は、行政の力だけでは対応が難しいものも多く、地域全体での取り組みが欠かせません。

自治会に加入することにより、日常生活の諸問題を地域共通の問題として話し合ったり、自治会を通して行政に要望したりすることができるほか、いざという時に助け合いができるなど、安心して安全な住みやすいまちをつくることにつながるものと考えています。

（事務担当は協働推進課地域自治推進担当）

【参加者】

マンションやアパートなどの集合住宅の住民は、集積所などの地域の自治会が管理するものを利用することがあります。そこで、マンションやアパートの建築のためには、自治会長の承諾が必要になることを聞いたことがあります。自治会長の承諾が必要になるのでしょうか。

【市長】

マンションやアパートの住民の皆様も、地域に暮らすことに違いはありません。当然、ごみ出しのルールなどを守る必要はあります。まちづくり条例などの中で、そのような規定があるかを担当課に確認して回答させていただきます。

担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

本市では、平塚市まちづくり条例を制定し、マンションやアパート、分譲地の開発事業に伴うごみ集積所の設置について、世帯数に応じた集積所の必要面積、形状等の設置基準を定め、開発区域内での集積所設置を義務付けています。

しかし、集積所を設置する必要のない小規模な開発事業の場合は、地域に設置された集積所を利用することができます。この場合は、自治会長の同意書を循環型社会推進課に提出していただくこととしています。

（事務担当は循環型社会推進課収集・分別推進担当）

7 市長によるまとめ

今日は皆様から貴重な御意見や課題を教えてくださいました。本当にありがとうございます。

日頃から富士見地区の地域のまとまりや活動には敬意を表しています。とても熱心にまちづくりに取り組んでいただいている地域であると思っています。ぜひ、これまで以上に富士見地区を愛していただき、地域の発展のために御尽力いただきますようお願いいたします。富士見地区の発展が平塚市の輝きにつながるよう、私も一生懸命取り組んでいきたいと思ひます。本日は本当にありがとうございました。

アンケート結果報告

【回答数 23件（参加者 14件 傍聴者 9件）】

参加者・傍聴者について

年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
0名	1名	1名	1名	9名	11名	0名

性別

男性	17名
女性	4名
回答なし	2名

質問1 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	3名	1名	4名
ポスターやチラシ	0名	2名	2名
町内会など地域から	10名	5名	15名
市ホームページ	0名	1名	1名
その他	1名	0名	1名
回答なし	0名	0名	0名

質問2 市長との対話はいかがでしたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	6名	6名	12名
まあよかった	8名	2名	10名
どちらともいえない	0名	0名	0名
あまりよくなかった	0名	1名	1名
よくなかった	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

質問3 質問2であまりよくなかった、よくなかったと答えた方について、市長との対話でよくなかった点はどのような点ですか。

回答 ・なし

質問4 御自身の考えや思いは伝わりましたか。(参加者対象)

回答

伝わった	6名
まあ伝わった	6名
どちらともいえない	0名
あまり伝わらなかった	0名
伝わらなかった	0名
回答なし	2名

質問5 質問4であまり伝わらなかった、伝わらなかったと答えた方について、御自身の考えや思いについて、伝わらなかった点はどのような点ですか。(参加者対象)

回答 ・なし

質問6 対話集会について、御感想や運営への御提案はありますか。

- 回答**
- ・市長から具体的な対応を聞くことができて良かった。
 - ・具体的な話を聞きたかった。
 - ・有効な活動です、これからも続けてください。
 - ・広報ひらつかにて、対話集会の発表をしてほしいです。
 - ・参加者の熱心な意見を聞けてよかった。
 - ・これまで知ることのなかった情報を聞くことができてよかった。
 - ・市長の説明が分かりやすく、とても良かったです。
 - ・質問事項を事前に集め、対話の時間を長くしたほうが良い。